



1977年生まれ  
香蘭女学校・早稲田大学  
政治経済学部卒業  
1男2女(20.19.16歳)の母  
防災士  
民主改革さいたま市議団  
元政務調査員  
2023年4月 さいたま市  
浦和区より県議会議員  
トップ当選

## 選挙公約

一般質問に登壇しました。(2025.6.23)

一般質問  
の動画は  
こちら▶「働く」を  
改革する

- ①就職氷河期世代の今  
⑤「渋沢MIX」に  
ついて

子供達への  
多様な教育環境を  
用意する

- ④フリースクールについて  
④メタバース空間の  
交流について

安心安全な  
浦和区をつくる

- ②県庁舎再整備について  
⑥再生可能エネルギーを  
高めるために

お年寄りが  
生き生きできる  
日常をつくる

- ③安心な  
医療体制構築に  
向けて

女性の  
政治参画をすすめる

- ⑦県庁組織の  
ジェンダー主流化を

「防災力向上に向けて」は次号にて報告

## ① 就職氷河期世代の今

就職氷河期世代への支援について独自にアンケート調査を行い、多くの回答を得たなかから、今回はこちらの声を取り上げさせていただきました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

## 非正規公務員の方からの声

埼玉県の公立小中学校の事務職員を非正規雇用(臨採)で28年勤め、正規職員(本採用)と同様の仕事をしているものの10年前で昇給が止まり、現在給料の手取額が21万円です。やりがいを感じることも多く辞めたくはないのですが、給料面の待遇と今後歳を重ね病気等になった際に休業補償はなく辞めざるを得ない身分であることも不安です。現状、本採用になれる機会がありません。このスキルや経験を活かして同一職で本採用になれる機会はないのでしょうか?



就職氷河期世代の救済を!

この訴えを受けて



県(総務部長・教育長)

現在、埼玉県でも一般行政職始め様々な専門職、教員採用で年齢制限を設けず59歳まで受験できる経験者採用を行っている。しかし、この小中学校事務職員の本採用試験は大卒区分で29歳までとなっており、経験者採用もない。**年齢制限の撤廃や就職氷河期世代を対象とした枠を設けるなど、就職氷河期世代の救済が必要ではないか。**

国から6月20日付けで就職氷河期世代が受験可能な中途採用試験の実施や氷河期世代に限定した採用試験の実施等について要請された。これを踏まえ**就職氷河期世代に限定した採用試験の実施について検討**していく。

## ② 県庁舎再整備について

県庁舎の最も古い部分が築80年を迎える2031年度に向けて、「現在地での建て替え」か「浦和美園への移転か」が今年度中に決まることになっています。



県庁舎建て替えは現在地で!

当然、移転ともなれば現在約6,000人の職員さんが勤務している浦和のまちにとって影響は大きい。**そもそも何故移転するのか?と必要性を問う声**もある。さいたま市長を始め、自治会連合会等から現在地での建て替えを求める要望書が県に寄せられている。地元からの要望についてどう受け止め、今後計画をすすめていくのか。



知事



**地元からの要望については他のご意見と同様大切に受け止め、今年度中に位置を決定できるよう丁寧に検討**していく。



## ③ 安心な医療体制構築に向けて

本県において医師確保は喫緊の課題ですが、安心な医療体制構築に向けて、今回は医師数を増やすだけでなく、幅広い領域の疾患に対応できる総合診療医と、ICTやAIの活用について視点を当てました。